



## 目次

畜産・酪農政策価格等の決定 2	道女性協海外視察研修… 8~9
TPP参加交渉反対による要請 3	営農対策情報…………… 10
青年部のページ…………… 4~5	根室地区JA温泉湯治…………… 11
みらい塾受講生修了レポート 6~7	別海高校だより…………… 12

TPP交渉断固反対要請を、望月会長、藤倉理事、事務局3人で北海道選出衆参両議員にしてまいりました。

# 平成25年度 畜産・酪農政策 価格等の決定について

このことについて、1月25日開催の食料・農業・農村政策審議会畜産部会において、平成25年度畜産・酪農政策価格が決定しました。

決定の特徴は、加工原料乳補給金（現行1kg12円20銭）が実質13円に値上げされた。これまでの算定ルールでは、補給金は20銭強の値上がりで止まるところを円安に伴う4月以降の配合飼料価格高騰分も見込んで35銭値上げし、加工向け対象に30銭を交付する加工原料乳確保緊急対策を創設されました。さらにチーズ助成金単価を補給金換算で15銭アップに相当する引上げがされました。これら「合算80銭（35銭+30銭+15銭）」で「補給金13円」となりました。

一方、限度数量（現行183万ト）は酪農家が生産意欲を失わない水準の設定が焦点でしたが、2万トの微減にとどまりました。平成25年度に激変的に酪農情勢が悪化した場合には、期中改定で対応する方針も示されました。

## ○ 加工原料乳生産者補給金及び限度数量

	平成24年度	平成25年度	前年対比
補給金単価	12.20円/kg	12.55円/kg	0.35円高
限度数量	183万ト	181万ト	2万トン減

## ○ 加工原料乳確保緊急対策事業(単年度事業)新規 1kg当たり30銭

## ○ チーズ向け生乳供給安定対策事業

平成24年度	平成25年度	前年対比
14.60円/kg	15.10/kg	0.5円高

## ○ 肉用子牛生産者補給金

		平成24年度	平成25年度	対前年比
保証基準価格	黒毛和種	310,000円	320,000円	10,000円高
	褐毛和種	285,000円	292,000円	7,000円高
	その他の肉専用種	204,000円	209,000円	5,000円高
	乳用種	116,000円	122,000円	6,000円高
	交雑種	181,000円	188,000円	6,000円高
合理化目標価格	黒毛和種	268,000円	273,000円	7,000円高
	褐毛和種	247,000円	251,000円	4,000円高
	その他の肉専用種	142,000円	144,000円	2,000円高
	乳用種	83,000円	86,000円	3,000円高
	交雑種	138,000円	142,000円	4,000円高

※今回の合理化目標価格の適用期間は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までとする。

中春別酪農対策協議会・  
中春別農業協同組合合同による

## TPP参加交渉断固反対による 北海道選出衆参両議員へ要請

中春別酪農対策協議会(望月英彦会長)では去る2月25日、27日、北海道選出衆参両議員にTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加反対を要請しました。日米首脳会談で「聖域なき関税撤廃が前提でない」

とされましたが、すべての物品が交渉の対象にされることに加え、聖域の確保は交渉の中で決まることとなっており、国民の命と健康を守る医療制度や、食の安全・安心の基準等についても改悪を余儀なくするもの

であり、さらに外国企業が国を訴える投資家・国家訴訟(ISD)条項が導入される可能性もあります。安倍総理が国会で「6項目を掲げて選挙を戦った。有権者、国民との約束をたがえてはならない」と言明

し、さらに「農業は国の礎である」とし「文化、地域を守る伝統といった多面的機能、そして、私たちの精神に結びつく存在として守っていかなければならない」と答弁しており、国民の命に直結する食料をまともに供給できなくなる可能性が、ありますTPP参加交渉が得策なのかを考えるべきであります。さらに、重要品目である乳製品・牛肉の主要原料を生産する専業地帯である当地域であつても、関税が撤廃されると基幹産業

である酪農畜産は壊滅的な大打撃となり、地域経済の崩壊につながる」と要請をしました。各国会議員からは、国民的議論や情報開示がないまま交渉参加はさせない、丁寧にプロセスを踏んで決断するよう政府・党内に働きかけていくと力強く述べていました。(要請者) 会長 望月英彦 J A中春別理事 藤倉紀夫 事務局・相澤 計3人



中春別酪農サポート協議会  
第11回 通常総会

## 労働力補完に取組み、 会員の生活にゆとりを!

去る2月7日(木)に団地セントアートレーニング室にて中春別酪農サポート協議会(馬場文夫会長)の第11回通常総会が開催されました。

開会にあたり馬場会長より挨拶があり、続いて来賓から中春別農業協同組合代



表理事組合長・小湊保氏と中春別酪農対策協議会会長・



望月英彦氏より祝辞をいただきました。

業計画(案)及び収支予算(案)について、議案第3号「賦

課金の賦課及び徴収方法について」、議案第4号「規約の改正について」、議案第5号「役員選考委員の選出について」

以上、5議案が提出され、全議案可決承認されました。最後に佐藤副会長より閉会の挨拶が述べられ、中春別酪農サポート協議会第11回通常総会が終了いたしました。

今後とも会員の皆様のゆとりある生活を目指し、労働力補完に取り組んで参ります。

農林水産省との意見交換会 衆議院議員伊藤良孝先生への表敬訪問

日本農業新聞 パソナアーバンファームへの研修

# 若者が希望を持って酪農に打ち込める未来へ

JA根室地区青協幹部研修を終えて 青年部理事 野矢貴志

毎年開催されていますJA根室地区青協幹部研修会が、管内盟友15人の参加のもと1月23日～26日において開催されました。



伊藤良孝衆議院議員を表敬訪問し農業の未来について語り合いました

当青年部からは、金子部長、野矢理事、相澤監事、また、地区青協副会長石森裕治氏に参加され、農林水産省との意見交換会、衆議院議員伊藤良孝先生への表敬訪問、日本農業新聞、パソナアーバンファームへの研修と充実

の事業に対しての意見交換会が行われ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。また、伊藤良孝先生への表敬訪問では、財務省の中に招き入れていただき「若者が希望を持って酪農に打ち込める未来へ」をテーマに



農林水産省では酪農情勢などについて意見交換

した研修会となりました。農林水産省では、普段仕事しているときに感じる身近な問題、酪農情勢、国

単組、地域に持ち帰り何らかの形で役立てられるように青年部活動、また、地域活性に繋がられればと強く感じま

語り合い、後継者問題など幅広い中での未来像について語り合いました。

日本農業新聞では、TPPに係るアメリカ、日本の思案をスライドでわかりやすく説明いただき、新聞ができるまでの詳しい行程を作業場ごとに見学させていただきました。

パソナアーバンファームでは、「自然との共生」をテーマにエコについて学ばせていただきました。

3泊4日と短い中での研修会でしたが、この貴重な体験や刺激を僕らは各



パソナアーバンファームにて研修



日本農業新聞を訪問し、新聞ができるまでの工程を見学

した。夜には管内盟友との懇親会も開催され、日頃の仕事の話や青年部活動について熱く語り合うことができ、管内盟友との親睦も図ることができた研修会となりました。

# なごやかな雰囲気の中、酪農青年と異業種女性との交流会が行われました

青年部(部長金子琢哉)では今年度新事業とし、酪農青年と異業種女性との交流会を後継者対策協議会(委員長藤倉紀夫)の協力をいただき、青年部員7人、女性7人、合計14人にて鶴雅ウイングスにて2月9～10日の2日間において開催いたしました。

## 1日 青年部員はJA中春別に集合し、気分

十分でバスに乗車。その後、女性陣を迎えに中標津バスターミナルへと向かいました。バス内では、どんな方が来る



行きのバスの中でお互いリラックスできるようクイズを楽しみました

のか楽しみな反面、少し緊張した感じの両面が見られました。そんな中ターミナルに到着し、女性陣との初対面。「初めまして〜2日間ヨロシクお願いします」と部員が積極的に挨拶を交わしバスの中に乗車。

バス内では自己紹介を行い、みんなが会話できるようにと20分置きに席替えを行ったり、クイズ大会などを楽しみながらお互いにリラックスした雰囲気の中、バスはホテルへ到着しました。雪害による通行止めなどもあり2時間遅れの到着となり、少し疲れが見られた参加者でしたが、ホテルの豪華さに疲れも吹き飛びました。

到着後すぐに懇親会へと



懇親会ではお酒も入りすぐに打ち解け、話もりあがりました

移り、乾杯と共に豪華な御膳とアルコールに舌鼓。交流部会で用意していたゲームをやる間もなく皆さん会話を楽しまれておりました。懇親会も程々に阿寒湖水

上フェスティバルへの参加を行い、花火鑑賞を行いました。冬空に上がる花火に参加者からは歓声があがり、記念写真を撮る方もちらほらおりました。その後

は温泉に浸かり、2次会3次会へと移りました。

## 2日

鶴雅ウイングスとはお別れし、イオン釧路店へ移動し、グループ対抗ボーリング大会を行いました。

ストライクやスペア、スピリットを取る方もおり、



ボーリング優勝チームに景品が渡されました

皆さん実力者揃いでナイスプレーのたびにハイタッチが見られました。2ゲーム行い優勝グループには、景品が送られました。

## 2組のカップルが誕生

1泊2日と短い行程でしたが、最後にマッチング投票を行い、豊原地区1人、美原地区1人の計2人が見事マッチングをし、今後の動向が楽しみです。

青年部初の試みでしたが、各関係機関のご協力のもと、後継者対策として行なった異業種交流会は、見事大成功をおさめることができました。今後とも青年部では活発な事業展開ができるよう協議していきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

飼料や草地更新、繁殖、疾病などを仲間とともに学んだ1年間



柿本 竜矢

この1年間は、あつという間で短く感じました。私がみらい塾に入ろうと思った動機は、専門学校を卒業し実家に入ってから約2年経ちますが、農協の仕組みについてあまり知らなかったためです。そのため、農協についてもっと知りたいと思い入校を決意しました。今回のみらい塾の塾生は5人で、みんな学生の頃から知っていたり、同じ地区の人が多かったりしたので、講義も受けやすく楽しかったです。

講義は1月から始まり、最初のうちは農協の仕組みについて講義を受けました。今までは、農協の仕組みについて何となくしか知らなかったため、講義を通してそれぞれの部署がどのような仕事をしているのか知ることが出来ました。みらい塾では、普及員の方や獣医の方にも講義をしていただき、飼料や草地更新、繁殖、疾病など基礎から技術的な事まで様々な事

を学ぶ事が出来ました。その中でも、特に興味を持ったのが草地更新についてです。草地更新は、ただ行えば良いというものではなく、除草剤を散布する時期や掃除刈りの時期などが大切でその後の生育状況や栄養価に大きく関わる事が分かりました。また、使用する資材や機械によってコストを大きく削減出来る事が分かり、自分でもやってみようと思いました。

みらい塾では、講義だけではなく視察も多く、実際に農家さんに行き施設を見せて頂いたり、お話を聞いたりしました。やはり、農家さん1軒、1軒でやり方や考え方が違い視察に行くたびに「なるほど」と思う事が多くとても勉強になりました。

最後に、この1年間、みらい塾に携わって頂いた農協職員の方、普及員の方、視察を受け入れて頂いた農家の方にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。今後は、みらい塾で学んだ事を自家で活かし、目標や向上心を常に持って経営に取り組みで行きたいと思っています。

視察研修を終えて  
沖縄県へ酪農視察

所かわればやり方も違い、  
試行錯誤しながら努力を  
続ける沖縄農協青年部

みらい塾第4期生 藤原寛史

去る2月5日から8日の4日間、私達みらい塾4期生は沖縄県の酪農家の視察研修に行きました。行く途中、飛行機が欠航するなどのトラブルもありましたが、無事に沖縄に到着することができました。その晩、沖縄農協の青年部の方々に懇親会

を開いていただきました。懇親会では、青年部の方々と酒を酌み交わし、酪農の話で盛り上がりました。

沖縄の酪農は、飼料(牧草含む)は全て購入で、育成牛もほとんど持たず、ハラミも購入するので、人工授精の際には経産牛の7割程に和牛の受精卵をつけることでした。購入飼料でも沖縄の酪農家の1頭当たりの平均乳量は8700kg程であり、乳価も現在はキロ125円です。こちらの酪農情勢とはかなり異なっていることがわかりました。

向こうの方も、こちらの道東の放牧中心の飼養方法や、どんどん規模拡大し、フリーストール飼養でパーラ搾乳する農家、ロボット搾乳を導入している農家などに興味津津になっていました。懇親会では本当に楽しい一時を過ごしました。

2日目は沖縄の観光。ひめゆりの塔や平和記念公園などを訪れました。こういう場所を訪れると、今の平和な日本は、戦時中の多くの方々犠牲の上に存在するのだとしみじみ思います。これからもこの平和な



酪農から経営、牧場視察など仲間と一緒に  
貴重な勉強、体験ができた1年間



藤原 寛史

私にとってみらい塾の1年はあつという間でした。一昨年の年末に農協の方からみらい塾へのお誘いを受けました。その年の秋に、この中春別の農家に婿入りした私は、周りに知り合いがほとんどいませんでした。そしてこの機会に、ぜひ同年代の人と知り合いになりたいと思ひ、入塾を決心しました。

みらい塾では同期の仲間と様々なことを学びました。酪農に関する技術だけでなく、酪農組織に関することや農業簿記等の経営に関すること、更に牧場視察や関係機関の施設見学など、様々な貴重な体験もできました。

またみらい塾は少人数なので、いつでも和気藹々としていて、講義などでわからない箇所があつても気軽に質問して解決できました。

特にみらい塾での1年を通じて、切に感じたことは、私達酪農家の経営は、様々な方々が関わったう

えで成り立っているということですから。経営面での支援や、技術面での支援をしてくださる農協職員や普及員の方々。牛の疾病などの治療をしてくださる獣医師や共済職員の方々。毎日安全な牛乳を出荷するために、乳質検査などをしてくださる酪農検定検査協会の方々、自分達の搾った牛乳を加工し製品にしてくださる乳業会社の方々。この他にも本当にたくさんの方々を支えられて、酪農家は生活しています。この事実に対して、「お互いに仕事だから当たり前」という考え方ではなく、「おかげさまで」という感謝の気持ちをつまでも持ち続けて、これからも仕事に励んでいきたいです。みらい塾で学んだことをこれから自分の牧場に活かせるように頑張ります。

最後になりましたが、この様なすばらしい機会を与えてくださった塾長並びに理事の皆様をはじめ、職員の方々やご指導していただいた方々に心より感謝いたします。本当にありがとうございます。

日本を築いてくれた方々に感謝し、この日本を守っていかなければならないと改めて思いました。

そして3日目の朝から、3件の酪農家を視察させていただきました。沖縄の酪農の特徴の1つが牛舎。壁がなく、風通しの良い造りになっていました。更に驚くほどの数の扇風機。2頭に1台、多いところでは1



頭に1台の扇風機を導入しており、暑熱対策に対応しています。また基本搾乳作業

1日5回から6回と頻繁に行っており、残餌の量がほとんどでないように工夫していました。更に糞尿処理問題に対しても、人一倍気をつけていました。近隣の酪農家と共同出資して、1カ所に堆肥場を設立して堆肥化して、近隣の畑作農家に配る農家もいれば、個人で堆肥所を所有し、堆肥にして商品化し、スーパーに

販売している農家もいました。

今回の視察で感じたことは、酪農も場所が変わればそれだけのやり方があるということです。どちらが優れているとかではなく、その地域の気候や地理的条件の中で試行錯誤しながら頑張っているということでした。沖縄の酪農家の方がおっしゃっていました。「去年から自家育成に力を入れようと、改良同志会を設立した。改良に励んで、いつかは北海道に自分達の牛を売り込みたい」と。お互い同じ酪農家の仲間として、またライバルとしてこれからも頑張ろうと誓い合うことができました。本当に今回の視察研修は意義のあるものになりました。

みらい塾の1年間を通じて、本当に貴重な体験がたくさんありました。これからの自分の経営に生かしていきたいと思ひます。本当に1年間ありがとうございました。



11月25日

成田空港を13時に出発してから12時間後、ドイツ、ミュンヘンに到着したのは、現地時間で夕方5時(時差8時間)でした。

全道各地のJA女性部員9人とJA北海道中央会、ホクレン、農協観光の添乗員、男性3人で24年度JA北海道女性協議会海外視察研修が始まりました。

11月26日

最初の視察場所は、約500万人の食を預かるドイツ第2の規模を誇るミュンヘン御売市場マルクハーレンです。この市場は、18世紀ビクトリア時代に開かれた青空市場から発祥した歴史ある市場で、戦争で壊れずに残った100年前の建物を利用していました。

午後からの視察先のナチュアランドは、オーガニック農業を推進する協同組合で、その基準は、ドイツの政府のエコレベル指数よりも厳しく、チェック機能も1年に

JA北海道女性協議会海外視察研修



# 異国の文化・慣習にふれ 新たな発見。



11月24日(土)～12月2日(日)にかけてJA北海道女性協議会海外視察研修が行われ、当農協女性部畠山友子部長が参加致しましたのでご報告させていただきます。



1回と品質管理は徹底して行っていました。特に酪農、畜産では家畜1頭あたりに確保しなければならぬ広い農地面積が求められ、動物福祉をととても重視していました。

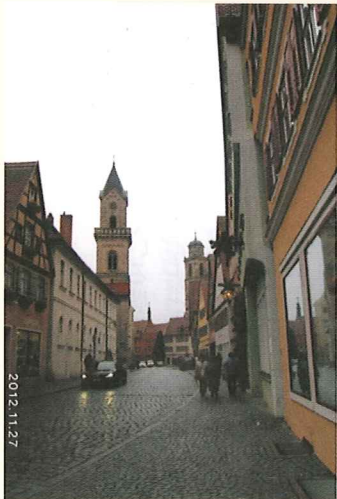
「BIO」と表記されていて、それに各認定団体のマークがついていました。野菜果物はもとよりBIOマークの付いた乳製品やプリンなどたくさん陳列されていて、日本のスーパーとは明らかに違う光景で、有機の製品が一般に浸透していることを感じました。



11月27日～28日

この2日間はファームステイで、私たちがお世話になったのは、バイエルン州の議員として精力的に活動をされているシャーマンさんという方でした。70代の女性とは思えないほど行動力があり、とても素晴らしい方でした。シャーマンさんの案内で始めに訪れたのは、

2011年に『わが村



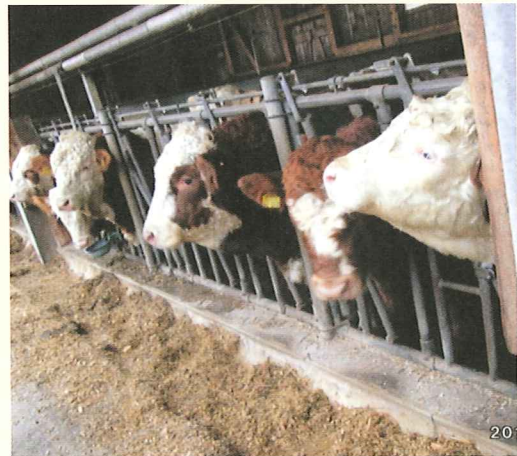




は美しく、わが村には未来がある」というドイツのバーデン・ヴュルテンブルク州で行っているコンテストで、みごと金賞をとったフィンシュターロールという小さな村です。

村おこしの一環で挑戦したこのコンテストのために、村人たちは下水道の工事や住宅の壁の色塗り、古い畜舎の撤去をしたり、使えそうな畜舎は住宅用にリフォームしたり、何でも自分たちで協力して行ったそうです。皆で作業することによってコミュニケーションをとる

でいる様子がよくわかりました。次の視察先のバイオガスパラントでは、日量、牛ふん3t、尿8t、デントコーンサイレージ10tを投入して、熱エネルギー(温水)と電気エネルギーに変換し、近隣の23軒の家庭用暖房やスイミングプールの



時間が提供でき、村の生活をより一層楽しくすることができたとおっしゃっていました。

次にヴァイカースハイムの幼稚園を訪問しました。園の中では基本子供たちは自由で、やりたいことをやるシステムになっていました。ただ先生方が子供の居場所がすぐ分かるように各部屋の入口には、子供たちが自分の写真を必ず貼り付けてから中に入っていました。遊びを通じて、自由のびのびと行動し、その中から沢山の事を肌と感じ学んでいる様子がよくわかりました。

温水供給の他、6000700世帯分の電力を売電していました。酪農経営を続けていくためにどうすればいいかを考え、バイオガスパラントを建設したそうです。ドイツの乳価は約34円で酪農だけでは経営が成り

立たず、政策的に保護されているバイオガス発電などにより収入を確保している農家も少なくないそうです。

11月29日

シュッドザットル株式会社オクゼンフルト工場を視察しました。毎月1万5千tのビートが入荷され、砂糖が作られる工程としては、ビートの粉碎、糖分の抽出、液糖



を濾過した後、煮詰めて砂糖となるようです。

最後に視察したバーデン・ヴュルテンブルク州、農民組合は、兼業、専業農家あわせて8戸で構成されている組合です。元々は市街地近くで農業を営んでいましたが、1930年に現存の地に集団で移転したそうです。

自分にとって今回の研修は、異国の文化、風習に触れることよって新たな発見もあり、とても良い勉強になりました。参加させていただけただけなのに感謝をしながら、今後の女性部活動に何か一つでも活かすことが出来たら嬉しく思います。

また、今回の海外視察研修では、農協をはじめ女性部の皆さん、各方面の皆様、にたくさんの助成、ご協力をいただき本当にありがとうございました。そして快く行かせてくれた家族に感謝しています。

# 営農対策情報

根室農業改良普及センター

## 牛の休息姿勢



写真1 ゆったりとした休憩姿勢

休むことが充実すると、次に続く採食、移動、飲水行動への動機付けにつながり、結果として採食量と乳量が増加します。

**1. 休むことの意味**  
自然界で捕食される立場の草食動物である牛にとつて、安心して休息できることは何事にも替えがたいことです。安全な場所に居ないとリラックスして長く休めません。

同じ内容のエサを給与しても、農場毎に採食量や乳量異なります。そのことは管内のTMRセンターでも確認されています。理由は様々ですが、要因の1つに「休息行動の違い」があります。今回は、牛の休息姿勢に注目してみます。



写真3 牛床幅を10cm広げて130cmにしたときの休息姿勢(乾乳牛)



写真2 コンパクトな休息姿勢

**2. 牛舎によって休息姿勢が違う**  
休息時は実にいろいろな姿勢をとります。写真1は放牧地やパドックで見られる代表的な休息姿勢です。特徴は、後肢を横に放り出すようにゆったりとしている点です。

一方牛舎内では、後肢をコンパクトに体に沿わせる姿勢を多く見ます(写真2)。同じエサでも採食量や乳量が高い牧場では、牛舎内でも写真1のようにゆったりとした休息姿勢を示す牛が多い傾向にあります。

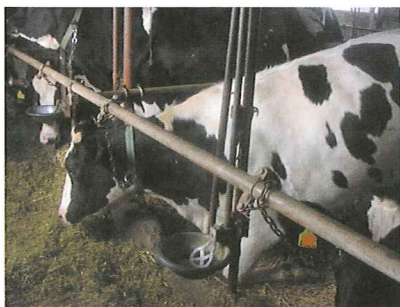


写真4 寝起きの途中でこの姿で一度止まる場合は牛床構造に原因がある

### 4. 牛床構造が原因の場合

もし、寝起きの途中で写真4の姿で止まる場合は、寝起きの途中でこの姿で一度止まる場合は牛床構造に原因がある

**3. コンパクトな休息姿勢はストレスのサイン**  
牛舎内でのコンパクトな姿(写真2)は、すぐに立ち上がることができる姿勢でもあります。リラックスしていないか、何らかのストレスを感じているサインだと考えられます。

例えば、牛床幅を10cm広げたり(写真3)、寝起きのときに頭を突き出すためのスペースを増やすことで、ゆったりとした姿勢の牛が増えることがあります。

コンパクトな休息姿勢をとる理由は、①緊張、②不適切な牛床構造(仕切り柵の構造を含む)、③敷料不足などが主なものと考えられます。



写真5 ネットロールを上げた事例

その際、1本のパイプで上げることができ、2本のパイプを利用して強度を高めて固定することを勧めます(写真5)。

なお牛舎改造事例の詳細は、今年2月発行の営農改善資料「牛の行動から考える牛舎施設」が各戸に配布されていますのでそちらをご覧ください。

牛舎構造	理由
タイストール	ません棒が低い
	ません棒が牛に近い
	カウトレーナーが低い
	チェーンが短い
フリーストール	後ろ足の位置が不安
	(牛床が短い、狭い、すべる、牛床マットが伸びたまま、牛床が凸凹など)
	頭の突出しスペースが不足
	ネックレールが低い
フリーストール	後ろ足の位置が不安
	(牛床が短い、狭い、すべる、牛床マットが伸びたまま、牛床が凸凹など)
	ネットロールが低い
	ネットロールが低い

表1

# ゆっくり温泉につかり、宴会を楽しみ 身も心もリフレッシュできました

平成24年度  
根室地区JA 温泉湯治



根室地区JA温泉湯治が、2月5日から2泊3日の日程で川湯観光ホテルにて開催されました。今回は全体で34人の参加で、当JAからは9人が参加されました。

1日目は夕方ホテルに到着した後は、夜の宴会までの間、それぞれ温泉にはいたり、お部屋で休んだりして過ごしていました。

お待ちかねの初日の宴会がスタートし、美味しいご馳走に舌鼓を打ちながら、酒も少々いただきました。岬まりこさんの歌謡ショーでは数々の名曲が披露されるなど、皆さんと一緒に歌を口ずさんだりと大変楽しませていただきました。その後、毎年恒例であるビンゴ大会が行われました。最初はなかなかビ

ンゴという声が上がらなかつたのですが、一人がビンゴと景品受け取ったのを境に、次々とビンゴという声上がり、あっという間に景品がなくなり楽しい宴会が終了いたしました。

2日目はカラオケ教室と映画鑑賞が行われました。カラオケ教室では、前日歌謡ショーをおこなっていた岬まりこさんをお招きしての開催となりました。2時間という短い時間ではありましたが、プロから教わる歌のレッスンはいろいろと勉強になったのではないのでしょうか。その後、昼食のカレーライスを食べ、お昼からは映画鑑賞をいたしました。映画は「佐賀のがばいばあちゃん」が公開され、皆さん楽しんで鑑賞していました。

夜からの宴会には、カラオケ大会が催されました。今回のカラオケは8人の方々が歌う中、「事務局の人は歌わないの？」という声があり、事務局3人それぞれ歌わせていただきました。私も歌いましたが、やはり大勢の方々の前で歌うのは大変緊張いたしました。その後、審査員から選ばれた方に賞品が配られ、宴会の締めとして当JAより高橋昌晴さんの挨拶をもって、その日の宴会は終了しました。その後も皆さんそれぞれの最後の夜を楽しまれたようです。

今回は前年度よりも少ない参加者の中での湯治となりましたが、来年度はより多い人数が参加していただけることを楽しみにしています。

# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## ●【専攻科】北海道青年農業者会議参加

1月16日(水)～1月17日(木)、北海道大学を会場に平成24年度北海道青年農業者会議が開催されました。今年は専攻科から、昨年12月に行われた根室管内青年農業者会議のアグリメッセージ部門で最優秀賞に選ばれた1年目学生の湯浅嘉謙さんが参加しました。

1日目の開会式終了後、アグリメッセージ部門の発表が行われました。全道12の振興局の代表の中には、酪農家の方や、地元で花卉栽培や水稲、野菜栽培・販売業務を行っている方もおり、農業者としての多角的な視点から、様々な発表がありました。2日目に関しても、園芸部門・作物部門・畜産経営部門・地域活動部門のプロジェクト発表が行われ、各取り組みに関する収支の成果や地域への普及・貢献度に対する内容の発表がありました。夜は交流会が開催され、各地の4Hクラブの代表者や関係機関の方々と親交を深めました。



発表の様子

湯浅さんは惜しくも入賞はなりませんでした。練習の成果を遺憾なく発揮し、落ち着いた発表で、多くの聴衆の前で堂々と自分の意見を述べていました。

全道の農業青年と交流を深めた経験は、今後の後継者としての活動の糧となることと思います。

(文責: 菊地昭吾)

## 【酪農経営科&専攻科】

### 海外研修報告会&就農激励会を実施

海外研修を終えた農業特別専攻科学生と酪農経営科酪農経営コース3年生の合同報告会が1月25日(金)に、本校体育館にて開催されました。本年度は農業特別専攻科2年目学生の馬場聡一郎君がニュージーランドにて68日間の酪農研修を、酪農経営科酪農経営コース3年の生徒4人(佐々木幹基君、中原大将君、丹羽広和君、松木麗樹君)がオランダ・ドイツ・フランスの3カ国を9日間の日程で視察研修した成果を発表しました。

報告会は別海町酪農後継者を育てる会の役員を始め多数の来賓を迎え、研修に参加した生徒・学生がそれぞれ視察研修先での写真を用いながら研修の報告をしました。

ニュージーランド北島ケンブリッジの酪農家で

研修した馬場君は、放牧の特徴やシェアミルク制度などについて感想を交えながら成果を報告しました。

また、酪農経営科ヨーロッパ視察報告は、オランダの花市場、ドイツのチーズ工房や飼料乾燥工場、フランスのランジス市場の視察などを中心に報告をしました。

報告会終了後には、酪農後継者として本年度卒業を予定している酪農経営科生徒4人と農業特別専攻科学生4人と来賓が一堂に会して、就農激励会が行われました。参加生徒・学生は、これからの抱負を交えてそれぞれ挨拶し、来賓から激励の言葉をいただきました。(文責: 鈴木 新)



今年度卒業・終了する生徒

## 【酪農経営科】活動内容を報告

1月25日(水)本校体育館で農業クラブの東北海道実績発表大会に出場した4発表が、全校生徒の前で発表を行いました。

この取り組みは、酪農経営科で活動している内容を普通科の生徒にも知ってもらおうと、始めたもので、日常あまり実習等の学習面で接することが少ない様子を見て、日常とは違った酪農経営科の生徒の生き生きとした様子に感心しながら、発表を聞いてくれました。

2月16日(土)には、より多くの町民の方々に活動を知ってもらうため、マルチメディア館で町民向けの活動報告会を実施しました。(文責: 鈴木 新)

## 【酪農経営科】出前授業実施

2月14日(木)野付小学校に訪問して出前授業を行いました。対象は3年生で生徒数は13人。内容は「Butterを作ってみよう」ということで、市販の脂肪率47%の生クリームを容器に入れてふって作りました。

参加した小学生3年は初めての体験だったようで、出来たバターの粒を見たり、パンに付けて試食して、「とても面白かった、作ったバターが美味しかった」と話していました。



出前授業

(文責: 鈴木 新)



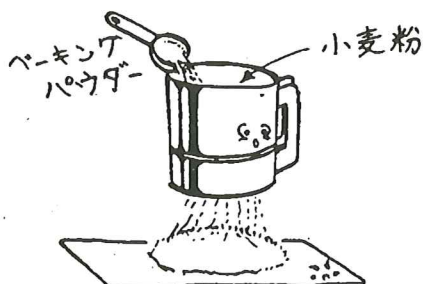
4人分

### ミルク入り豆パン

小麦粉 ----- 250g  
 ベーキングパウダー --- 大さじ 1  
 卵 ----- 1個  
 牛乳 ----- 180cc

砂糖 ----- 大さじ 2 1/2  
 塩 ----- 1つまみ  
 甘納とう ----- 1/2 袋量  
 サラダ油 ----- 適量

**1** 小麦粉にベーキングパウダーを加え、ふるっておく。



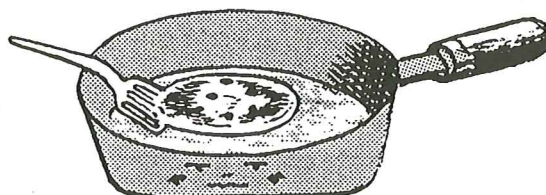
**2** 卵はよくときほぐし、牛乳、砂糖、塩を混ぜ合わせる。



**3** 小麦粉を加えて、混ぜ合わせ甘納とうを入れる。



**4** 厚手のフライパンに油をひき弱火でゆっくり焼きあげる。



牛乳の成分のはたらき (1) \*\*\*\*\*

カルシウム ... 骨や歯を丈夫にし、筋肉の動きを活発にし、血液を弱アルカリ性に保って体調をととのえる。

リン ... カルシウムとともに、骨や歯の主成分。リンは体液や血液を正常に保ち、体内の代謝を高めて、体調をととのえ、神経のはたらきを助ける。

脂肪 ... 体を活動させるエネルギー源。牛乳の脂肪は消化吸収が良い。



生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 3件 管内では 15件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 1件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 1件です。
- 血乳による汚染事故………JA中春別発生件数 0件 管内では 1件です。

ポジティブリスト記載・記帳について  
 生乳生産記録管理表を送付しております。安心・安全な  
 生乳出荷の生産履歴となりますので記載、記帳をお願いいたします。

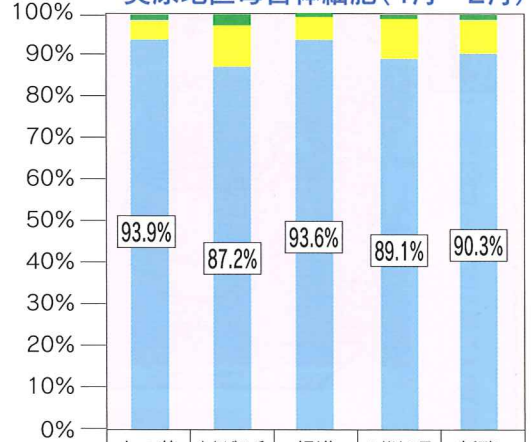
＜平成18年度食品安全基本法施行により義務付けられております＞

豊原地区毎日々体細胞(4月～2月)



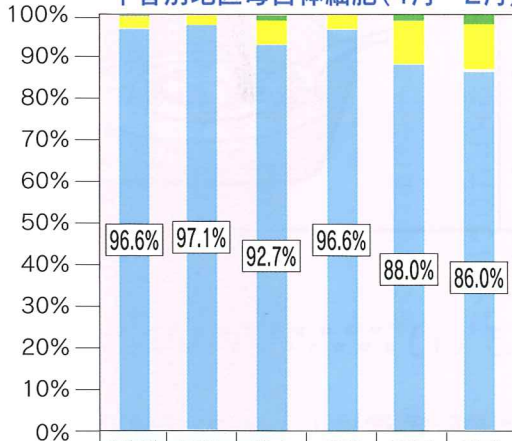
■ 50.5万以上	0.2%	0.4%	0.2%	0.6%	0.2%	0.0%
■ 40.5～50.4	1.0%	0.8%	1.0%	1.6%	3.4%	0.1%
■ 30.5～40.4	4.0%	3.0%	6.9%	7.5%	10.7%	1.3%
■ 30.4万以下	94.8%	95.8%	91.9%	90.3%	85.7%	98.6%

美原地区毎日々体細胞(4月～2月)



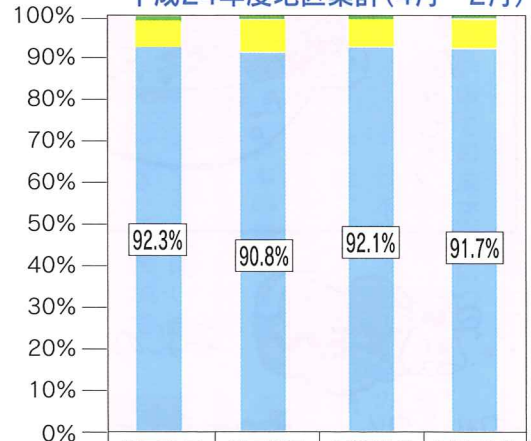
■ 50.5万以上	0.5%	0.7%	0.2%	0.2%	0.3%
■ 40.5～50.4	1.2%	2.2%	0.7%	1.1%	1.4%
■ 30.5～40.4	4.4%	9.9%	5.5%	9.6%	8.0%
■ 30.4万以下	93.9%	87.2%	93.6%	89.1%	90.3%

中春別地区毎日々体細胞(4月～2月)



■ 50.5万以上	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.5%
■ 40.5～50.4	0.5%	0.3%	1.1%	0.4%	1.4%	2.5%
■ 30.5～40.4	2.8%	2.5%	6.0%	2.9%	10.3%	11.0%
■ 30.4万以下	96.6%	97.1%	92.7%	96.6%	88.0%	86.0%

平成24年度地区集計(4月～2月)



■ 50.5万以上	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%
■ 40.5～50.4	1.4%	1.3%	1.1%	1.2%
■ 30.5～40.4	6.0%	7.6%	6.6%	6.8%
■ 30.4万以下	92.3%	90.8%	92.1%	91.7%



## 議案

1. 出資金の減口及び組合員資格の変動について
2. 酪農ヘルパー事業推進積立金支援に係る継続について
3. 平成24年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
4. 早期退職勧奨制度廃止に伴う諸規程の改正について
5. 組合員規程の改正について
6. 福利厚生規程の改正について
7. 平成25営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
8. 平成25営農年度クミカン暫定取引について
9. 国営かんがい排水事業実施に伴う優先順位について
10. 平成24年度酪農ヘルパー円滑化対策事業基金の取崩額について
11. 生乳集荷料金の改定並びに毎日集荷料金の設定について
12. リース契約について
13. 平成25年度理事報酬の諮問(案)について

## 報告事項

1. 平成24年度12月末定期監査報告について
2. 組合員の加入について
3. 組合員の脱退について
4. 平成24年度1月末決算見通しについて
5. 平成24年度自己査定12月末仮査定結果について
6. 年度末貯金推進の実施について
7. 中春別農協施設等有効利用検討委員会による答申について
8. 平成24年度1月末営農生産関連実績について
9. 平成25営農年度信用限度について
10. 生乳抗菌性汚染事故に対する生乳補償互助会の支払いについて
11. 「バイオマス産業都市づくり対策事業」概要について

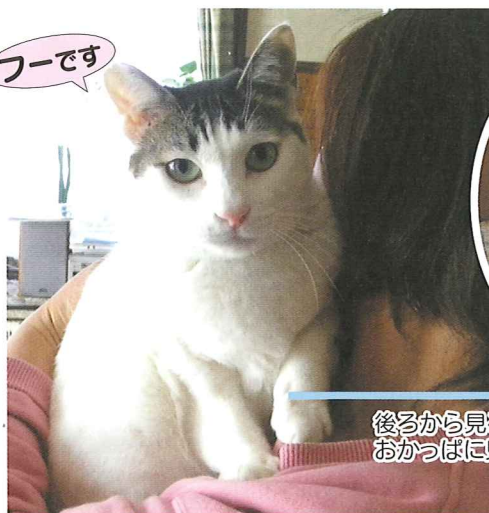
## 1月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		795.376		32.36	30.75	1.61	
無脂乳固形分		501.244		44.34	42.21	2.13	
補給金		5.3754		5.38	5.00	0.38	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	315,887,507.0kg	3.69	3.72	-0.03
		ランク2	0	7,476,937.8kg			
		ランク3	-3	229,819.2kg			
	体細胞数	ランク1	2	271,729,554.9kg			
		ランク2	1	27,621,335.7kg			
		ランク3	-2	4,474,032.0kg			
合計				85.77	81.68	4.09	

## 1月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	32円36銭	
無脂乳固形分②	44円34銭	
補給金③	5円38銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.07%
	農協	4.13%
無脂固形分率	全道	8.85%
	農協	8.81%
成分乳価	全道	82円08銭
①+②+③+④-⑤	農協	82円39銭
乳質乳価⑥	全道	3円69銭
	農協	3円81銭
乳代合計	全道	85円77銭
	農協	86円20銭
⑤+⑥	差異	43銭



後ろから見ると、頭がおかっぱに見えます

## 楽しい家族と一緒に

### 中村さん家のまこちゃん・フーちゃん

犬♀11カ月

猫♀6歳

豊原地区・中村 教さん家

#### ★飼い始めたきっかけ

まこ: 番犬になるように別海の農家さんからもらいました。

フーちゃん: 近所の人からもらいました。

#### ★名前の由来

まこ: いろいろ悩んでかわいい名前が思いついたので「まこ」にしました。

フーちゃん: 白い毛がフワフワしていたので「フーちゃん」にしました。フーちゃんは頭としっぽの毛が黒く頭がおかっぱに見えます。

#### ★好きなこと(もの)はなんですか？

まこ: フリスビーをくわえて走るのが大好き! 毎日トラクターに乗せてもらうのが日課で、人なつこくて甘えん坊なわんちゃんです。

フーちゃん: 食べて、朝から夕方までずーっと寝ること! 食べ物ではホタテが大好き? 人見知りか激しいです。

#### 編集後記

▼今月の1日から3日にかけて全道で9人もの犠牲者を出した猛吹雪。過去最大瞬間風速を記録し、長年道東に住んでいる私達でさえ、予想をはるかに超えるほどの猛吹雪でした。出かける人には一声かけるなど状況判断をして、このような事故を起こさないように努めてもらいたいです。亡くなった9人の犠牲者には心よりご冥福をお祈りいたします。

▼また、屋根の雪おろしや車の運転などに細心の注意を払い、新年度新たなスタートをきるよう、どうかお体に気を付けてお過ごしください。

